

コミュニティ・スクールで学校と七宗町を盛り立てる

七宗町教育委員会

1. はじめに

山間部に位置する七宗町は、人口3,194人、小・中学校児童生徒数162人で、例にもれず人口減少が進む町である。町内には2地区（神測地区と上麻生地区）があり、それぞれに小学校と中学校を配し、併せて4校が存在する。児童生徒数の減少に伴い、小学校同士・中学校同士をそれぞれ統合して、令和8年4月神測地区に小学校を置き令和7年4月上麻生地区に中学校を置く学校統合を進めている。これまで地区ごとにあったコミュニティ・スクールを全地区とすることで、七宗町全体をあげて学校を応援する体制が整う。この統合を七宗町の活性化につなげる機会と捉え推進している。

2. 事業のねらい

学校統合を進めることを通して、コミュニティ・スクールやこれまで青少年育成を担ってきた青少年育成町民会議など、子どもを取り巻く環境を総合的に見直し、子ども・地域住民・七宗町を盛り立てる取り組みとする。

3. 具体的な取り組み

(1) コミュニティ・スクールの取り組み

① 学校統合に伴う組織の見直しと活動内容

神測・上麻生それぞれにある中学校区ごとにコミュニティ・スクールを設置しているが、学校統合に伴い町内で1つにする話し合いがなされた。話し合いを進める中で、これまで取り組みが異り差もあったが、統合するにあたり現時点から共有できる取り組みを入れることと両コミュニティ・スクールのメンバーが神測・上麻生両方の行事に参加することを共通理解した。この話し合いの結果、以後に行われた上麻生小学校の行事「なかよしフェスティバル」では、神測・上麻生の方々の協力が得られ、多彩なブースを設けて子ども達を盛り立てることができた。

② 活動内容の例

㊦ 上麻生小学校「なかよしフェスティバル」

地域の方々70名が用意した12のブースを異学年縦割りグループ「なかよし班」で体験した。和太鼓や高所作業車体験、ロボット操作、七宗町に関するクイズなど地域の方々だから用意できるものばかりで、児童は「七宗のことが勉強できるクイズや工作、スポーツなどいろいろあって面白い」と感想を述べた。また、



「なかよしフェスティバル」

参加していただいた地域の方々からは、「“七宗かるた”を使い七宗全体を話題に子どもと話ができることが良かった」と意見をいただいた。

①神淵・上麻生中学校閉校行事の運営

長年にわたって子どもたちが通学してきた中学校であり地域に支えていただいた学校の閉校を迎えるにあたり、コミュニティ・スクールからの申し出により閉校式典後の記念行事を行うことが決定した。月に一度の打ち合わせ会や準備作業など熱心に行われているが、思いに賛同する方々が回を追うごとに増え企画内容も充実したものになってきている。自治会での話題にも上がり盛り上がり地域との勢いに繋がっていると感じさせる。

(2)青少年育成町民会議の取り組み

①組織の見直し

32地区ある自治会から各地区1名の地区推進員を選出する方法を長年とってきたが、人口減により役員選出が難しくなったことで組織と活動内容の見直しが必要となった。そこで、地区推進員を廃止すると共に家庭部会や青少年部会などの部会をなくし、青少年育成推進指導員が全体の活動を統括する形とした。活動に当たっては、青少年育成町民会議運営委員会メンバーで担当することとし、関係団体と連携協力して地域の総力で取り組むものとした。



「チャレンジランキング」

②活動内容の精選と各種組織との連携

町民を対象とした青少年育成研修会を廃止してはどうかという意見や子ども会・スポーツ少年団と協力した行事を位置付けてはどうかという発案などを参考に、事業の見直しと町内組織の連携で効果的に青少年を育成する取り組みを進める。

(3)子ども会の取り組み

①組織の見直し

これまで30ある単位子ども会も子どもがいない地区が増え、役員を出すことや活動への協力が難しくなってきた。更に子ども会育成会指導員さんも高齢化されたことで活動を維持することが難しくなった。そこで、子ども会の保護者から役員を組織し、青少年育成町民会議と協力して行事を企画運営することとした。



子ども会「お楽しみ映画会」の様子

②活動内容

㊦子ども会「お楽しみ映画会」

今年度は保護者の実行委員会で「お楽しみ映画会」を企画・実施した。町全体で子どもが集い楽しみな映画の鑑賞とゲーム大会が行われ大変盛り上がった。

4. 成果

コミュニティ・スクールが全町に拡大したことで、全町民を巻き込み活力を生むことに繋がった。